

女性活躍応援ファンド(愛称:椿)

2018年の国内株式市況の見通しについて

～2018年は女性活躍を支える「Beauty & Wellness」関連銘柄にも注目～

2018年1月5日

平素は、『女性活躍応援ファンド(愛称:椿)』をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

また、2017年は本当に多くの受益者の皆さまのご支持を賜り、ファンドの純資産も大きく成長することができました。重ねて御礼申し上げます。

今回は、2017年の国内株式市況の振り返りと2018年の相場見通しについて、運用担当者のメッセージをお伝えします。

お伝えしたいポイント

- ・ 2017年の国内株式市況は、好調な企業業績などを背景に大幅上昇
- ・ 当ファンドの運用では、人材派遣や美容関連銘柄の保有がパフォーマンスに寄与
- ・ 2018年は、女性活躍を支える「Beauty & Wellness」関連銘柄にも注目

＜基準価額・純資産の推移＞

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

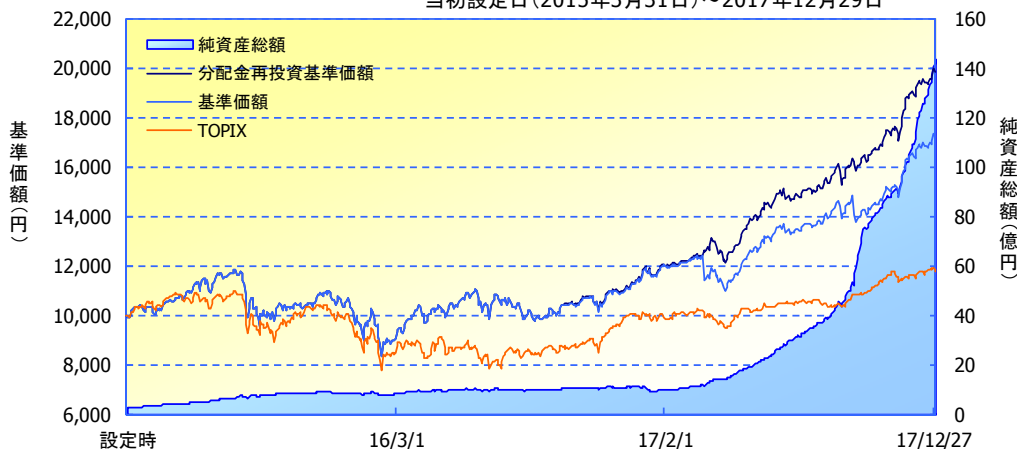
当初設定日(2015年3月31日)～2017年12月29日

2017年12月29日現在

基準価額	17,222 円
純資産総額	143億円
TOPIX	1,817.56

期間別騰落率

期間	ファンド	TOPIX
1か月間	+5.2 %	+1.8 %
3か月間	+21.7 %	+8.5 %
6か月間	+34.3 %	+11.9 %
1年間	+73.9 %	+19.7 %
3年間	----	----
5年間	----	----
年初来	+73.2 %	+19.7 %
設定来	+98.5 %	+17.8 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※TOPIX(東証株価指数)は当ファンドのベンチマークではありませんが、参考のため掲載しています。

※グラフ上のTOPIXは、グラフの起点時の基準価額に基づき指数化しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 2017年の国内株式市況の振り返り

2017年の国内株式市況は、国内企業の業績回復などを背景に大幅上昇となりました。年初は、米国大統領選挙後の株価上昇に対する警戒感に加えて、トランプ米国大統領の政策に対する期待と不透明感が交錯し、一進一退で推移しました。4月に入ると、北朝鮮の地政学リスクの高まりが懸念され、株価は下落しました。しかし4月後半からは、地政学リスク悪化の一巡に加えて、フランス大統領選挙で中道派のマクロン氏が極右政党の候補者を抑えて当選したことが好感され、株価は上昇しました。6月以降は、欧米の中央銀行の金融引き締めペースの見方が交錯し、株価は横ばい圏で推移しました。8月に入ると、再び北朝鮮に関わる地政学リスクが高まったことや、米国の物価統計の弱含みにより米国の年内利上げ観測が後退したこと、対米ドルでの円高が進行したことなどが影響し、株価は軟調に推移しました。9月半ば以降は、米国の年内利上げ観測が再び高まり円安米ドル高となったことや北朝鮮問題への懸念が一服したこと、10月に行われた衆議院議員選挙で連立与党が勝利したことなどを受け、株価は上昇しました。11月半ばには急激な株価上昇への懸念から調整する場面がみられたものの、その後は堅調な国内企業業績と米国の税制改革の進展が好感され、株価は上昇しました。

■ 2017年の当ファンドの運用状況

2017年の当ファンドの騰落率は、同期間のTOPIXの騰落率と比較して良好なパフォーマンスとなりました。

当ファンドが着目する4つのテーマ



当ファンドでは、「女性の活躍を推進する企業」、「女性の社会進出を助ける企業」、「女性向けまたは女性に人気の商品やサービスを提供する企業」、「女性の所得が増加することにより恩恵を受ける企業」の4つのテーマに着目し、徹底したボトムアップリサーチにより、業績拡大が期待できる企業に投資を行っています。

「女性の社会進出を助ける企業」では、2016年の秋ごろ、政府が進める働き方改革で残業規制が厳しくなったことを実感し、2017年は人手不足がより深刻化し女性の労働力が必要になるとの見通しの下、人材派遣など多くの人材関連銘柄に投資を行いました。その結果、人材関連銘柄は想定通りに業績が拡大し、2017年の株式市場で最も注目を集めたテーマの一つとなり、大きくパフォーマンスに貢献しました。

「女性向けまたは女性に人気の商品やサービスを提供する企業」、「女性の所得が増加することにより恩恵を受ける企業」では、消費者としての女性を顧客とする企業に着目し、女性の社会進出やインバウンド需要により業績拡大が期待される美顔器や化粧品などの美容関連銘柄に投資を行ったことが、大きくパフォーマンスに貢献しました。

下記の2銘柄は、2017年に当ファンドで組み入れを行った銘柄の一例になります。

ウィルグループ



社会進出を
サポート

【企業紹介と投資のポイント】

- 家電量販店やアパレルショップなど販売現場へのセールス派遣が主力。コールセンターに特化した求人情報なども提供。女性の社会進出に伴い、同社の派遣事業の成長が期待される。
- 人材不足が続くと予想される介護業界で、介護士派遣や介護士紹介などの事業にも注力中。中長期的な業績拡大にも注目。

ヤーマン



女性向け
商品提供

【企業紹介と投資のポイント】

- 美顔器など家庭用美容・健康機器メーカー。
- 人手不足という構造的要因を背景に女性の社会進出が進み、自宅でエステを行う需要拡大が期待される。
- 訪日外国人客の関心が高い美容商品のインバウンド需要からの恩恵も利益成長を後押し。

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

■ 2018年の国内株式市況の見通し

2018年の国内株式市況は、好調なグローバル景気を背景とした国内企業業績の拡大や、総じて緩和的な先進国中央銀行の金融政策がサポートとなり、底堅い展開を想定しています。

日米欧の中央銀行の金融政策をみると、米国が利上げに加え、2017年10月より中央銀行のバランスシート縮小を開始したものの、そのペースは緩やかです。一方、日本と欧州は依然バランスシートの拡大を継続しています。インフレ率の上昇ペース加速による金融引き締め強化、あるいは引き締めへの転換の可能性には注意が必要ですが、2018年も引き続き緩和的な金融政策が継続すると予想します。

また、PMI（購買担当者景況指数）が多くの国・地域で高い水準にあるなど、グローバル経済は好調です。国内株式市場では2018年度も全体で1桁台後半のEPS（1株当たり純利益）成長が見込まれており、企業業績の着実な拡大が株価を押し上げる材料になると予想します。

■ 2018年に当ファンドが期待するテーマ・銘柄

当ファンドでは、下記のようなテーマ・銘柄に着目し運用を行っていく方針です。

引き続き、人手不足により女性の労働力が必要になるとの見通しの下、人材関連銘柄に注目していきます。政府が進める働き方改革、日本の高齢化、さらに2020年の東京五輪に向けてますます労働需給は逼迫すると予想しています。また、労働需給の逼迫による女性の社会進出、インバウンド需要、新興国の所得水準の向上による日本製品の需要の高まりを背景に化粧品など美容関連銘柄にも注目していきます。

今後は、女性活躍を支える「Beauty & Wellness」関連銘柄にも注目していきます。株式市場では「健康寿命の延伸」の国策に関心が高まっています。多くの人々が「長く健康でいたい」という想いを抱えていると考えられ、予防を意識した健康に関する取り組みが日本全体で進んでいくことが考えられます。また、女性の社会進出が進むにつれ、自身の健康への取り組み、企業の健康支援なども進んでいくと予想しています。世界的に女性の方が男性よりも平均寿命が長いことが知られており、その理由の一つに女性の方が健康に気を遣っているということが挙げられ、女性が行う健康への取り組みは今後関心が高まると考えられます。健康を維持するために必要な3つの重要要素として、「栄養バランスのとれた食事」、「適度の運動」、「十分な休養（睡眠）」がありますが、これらについて女性がどのような取り組みを行っているかを今後の銘柄選択にいかしていきたいと考えています。

今後も、上記の見通しの下、長期的に市場全体の値動きを上回る超過収益の獲得をめざしてまいりますので、引き続き、当ファンドをご愛顧くださいますようよろしくお願い申し上げます。

(以上)

女性活躍応援ファンド(愛称:椿)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

わが国の株式の中から、女性の活躍により成長することが期待される企業に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 「女性の活躍」に着目して投資候補銘柄を選定します。



2. 徹底したリサーチにより投資魅力の高い銘柄を選定し、ポートフォリオを構築します。
 - 投資候補銘柄の中から、徹底したボトムアップ・アプローチを重視した個別企業の分析および投資環境の分析を行い、投資魅力の高い銘柄を選定します。
 - 個別銘柄の流動性、株価水準等を考慮し、ポートフォリオを構築します。
 - 投資候補銘柄およびポートフォリオの組入銘柄については、適宜見直しを行いません。
 3. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行いません。
 - マザーファンドは「女性活躍応援マザーファンド」です。
- ※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

女性活躍応援ファンド(愛称:椿)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動(価格変動リスク、信用リスク)」、「中小型株式への投資リスク」、「特定の業種への投資リスク」、「その他(解約申込みに伴うリスク等)」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限)2.16%(税抜2.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.566% (税抜 1.45%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

女性活躍応援ファンド（愛称：椿） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
アイオー信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第230号				
飯田信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第252号				
いちい信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第25号				
株式会社伊予銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第2号	○	○		
大阪信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第45号				
北伊勢上野信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第34号				
株式会社きらやか銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第15号	○			
桐生信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第234号				
呉信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第25号				
興能信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第19号				
埼玉縣信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第202号	○			
しののめ信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第232号				
株式会社清水銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第6号	○			
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第7号	○	○		
瀬戸信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第46号	○			
株式会社筑邦銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第5号	○			
株式会社東北銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第8号	○			
栃木信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第224号				
株式会社トマト銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第11号	○			
株式会社富山第一銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第7号	○			
長野信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第256号	○			
のと共栄信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第30号				
飯能信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第203号				
兵庫信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第81号	○			
株式会社北都銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第10号	○			
三島信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第68号				
株式会社宮崎銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第5号	○			
株式会社山梨中央銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第41号	○			
いよぎん証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第21号	○			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第77号	○	○		○
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
ほくほくTT証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第24号	○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
リテラ・クリア証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第199号	○			

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。